

中国地方における日本風景街道及び夢街道ルネサンスの取り組みをさらに発展させるため、「ちゅうごく街道交流会議」を開催しました。会議では、平成22年度の夢街道ルネサンス新規認定地区(2地区)の認定証授与式、取組紹介のほか、「活動の継続と交流連携」といったテーマのもとに、意見交換会が行われました。

## 議事次第

とき 平成23年6月8日(水)  
ところ KKRホテル広島

### 1. 開会挨拶

### 2. 認定証授与式

- ・琴ノ浦歴史街道(鳥取県琴浦町)
- ・ながと大内湯けむり街道(山口県長門市)

### 3. 新規認定地区の紹介

- ・琴ノ浦歴史街道  
山村 典子氏
- ・ながと大内湯けむり街道  
河添 歳弘氏、久保田 啓子氏



### 4. 活動紹介

- ・風待ち海道(島根県隠岐の島町・西ノ島町・海士町・知夫村)  
野辺 一寛氏
- ・石州街道出口通り(広島県府中市)  
棗田 澄子氏

### 5. 意見交換

テーマ「活動の継続と交流連携」  
コーディネーター 小島 光治氏

(中国地方風景街道協議会・夢街道ルネサンス推進会議委員)

## (認定証授与式の様子)



琴ノ浦歴史街道



ながと大内湯けむり街道

## 認定地区について・・・

### (琴ノ浦歴史街道)

- ・小泉八雲を中心としての町おこしの創出
- ・ツアー、交流会、講演会を通じた町民のまちづくりの意識向上
- ・活動を通じた他地域との交流連携

### (ながと大内湯けむり街道)

- ・湯本～俵山温泉を結ぶ赤間関北道筋で活動
- ・古来より温泉、歴史的にも繋がりのある俵山、湯本がそれぞれのまちづくりに取り組みながら、広域的なイベントも開催。
- ・宿泊・朝食連携ツアーほか、連携研修会等の勉強会も開催。

## 風待ち海道 野辺 一寛氏 ～民間資金を活動した活動の継続～

- ・夢街道ルネサンスの認定(H14)～日本風景街道への登録(H19)
- ・多様な主体の参加と連携による「地域づくりモデル事業」を展開
- ・活動における課題
  - 具体的な目標設定、多様な主体が参加した組織、役割分担の明確化
  - 活動資金の確保
- ・課題克服の手段
  - 世界ジオパーク認定を目指した取り組み
  - エコツーリズムによる地域振興・観光振興
  - 企業が重要視しはじめている地域貢献活動の活用（電子マネー「隠岐ジオパークWAON」の活用）



風待ち海道 野辺さん

## 石州街道出口通り 栗田 澄子氏 ～誇りと愛着のある住み良いまちを目指して～

- ・夢街道ルネサンスに認定(H17)
- ・まちづくりの問題点（地区の歴史性の喪失、景観の有効活用、地域資源とのネットワーク形成、狭い道路が多い、人口減少や高齢化など）
- ・「生活からの視点に立った、歴史を活かしたまちづくり」(まちづくりの基本方針)
  - 修景事業、各種行事等の紹介
- ・修景等基盤整備は市町で実施していただいた。自分たちの活動資金は自分たちで稼いでいこうがモットー。
- ・今年度のメインイベント「銀の道飛脚プロジェクト」の開催
  - 点から線へ。夢ルネをつないで風景街道を目指して。



石州街道出口通り 栗田さん



意見交換会では、「活動の継続と交流連携」をテーマに、各地域の課題を始め、参考となる取り組みを紹介いただきました。

(主な意見から・・・)

### 高齢化問題について

- ・若者が少ないなどの問題には、地元の行政や企業に協力してもらっている。
- ・イベントの窓口を市町など行政にお願いしている。官民協働で実施。
- ・他地域の学生の参加が、若いメンバーに良い刺激となっており、地域の若者の参加につながっている。
- ・学生への風景街道の勉強会の実施も有効。

### 資金の問題について

- ・民間などから助成金や補助金を受けている。
- ・イベントや販売の収益や企業の助成を受けながら続けている。

### 広域連携について

- ・点を線に結びつけることが重要。そこで夢ルネの認定に着目し、周辺の地域の認定に向けた支援を実施。
- ・行政と一体となった取り組みが重要。
- ・風景街道として、統一的なデザインも必要と考える。

### その他

- ・他地域へのガイドの勉強会を実施している。
- ・広くPRするには、イベント等の準備段階から積極的に情報提供していくことが重要。
- ・山口で、着地型の観光商品の開発を実施されている。人材育成も実施されている。参考になる事例を今後情報提供していければと考えている。